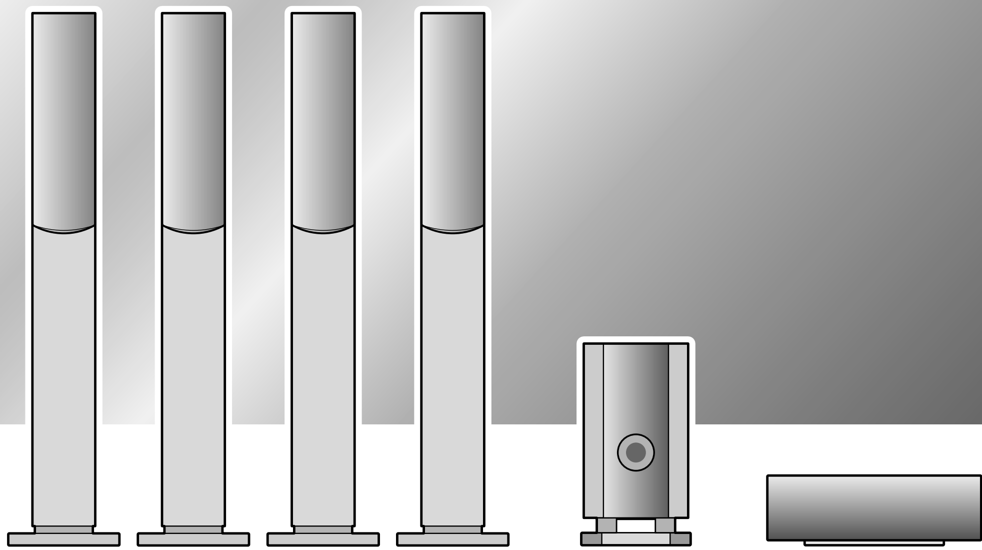
SHARP

シアタースピーカーシステム

形名 CP-SYS10

取扱説明書



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

Micropure®
Sound Healing Technology

1章　はじめに　ページ

おもな特長

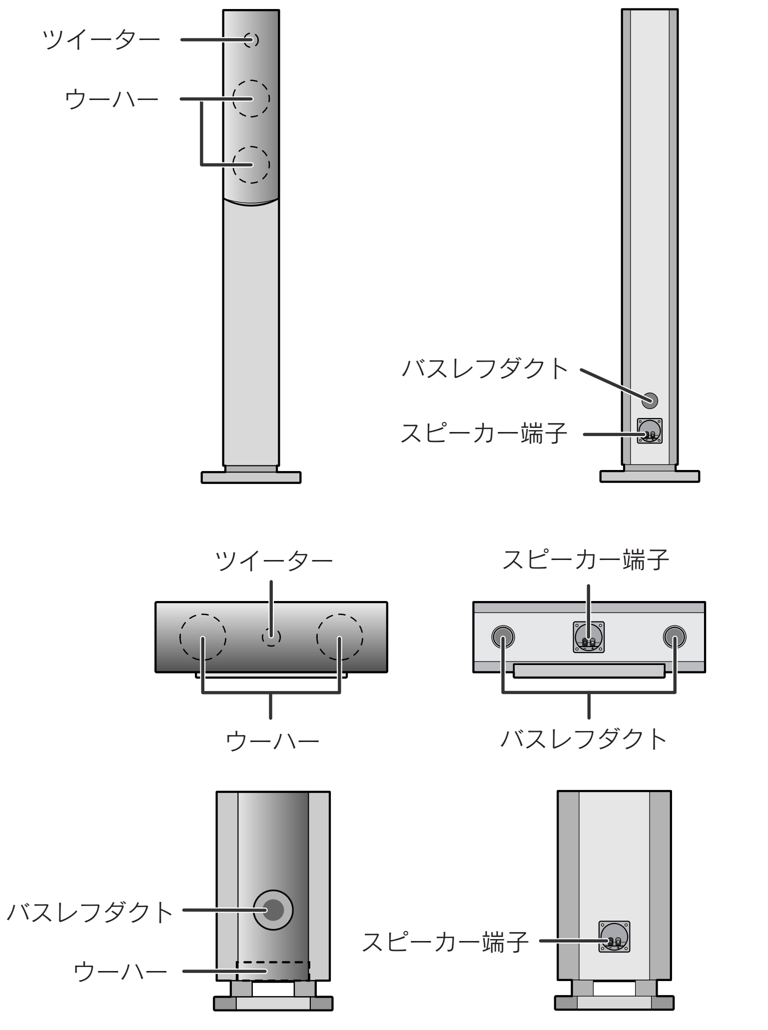
1ビットデジタルアンプの精細な音声をより正確に再現する、「マイクロピュア技術」を採用

パストラルシンフォニー社の「Micropure® Sound Healing Technology」により、ハイスピード・ハイレスポンスな重低音と高解像度を実現しました。

「Micropure® Sound Healing Technology」とは
スピーカーユニットの周囲に100ミクロン程度の隙間を空けることで、スピーカーキャビネット内の内圧を放出、振動板へのストレスを減少させ、振動板をスムーズに動かすことにより高音質を追求した技術です。

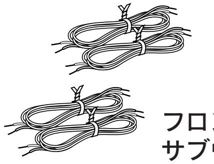
各部のなまえ

CP-SYS10

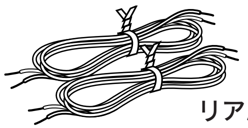


付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

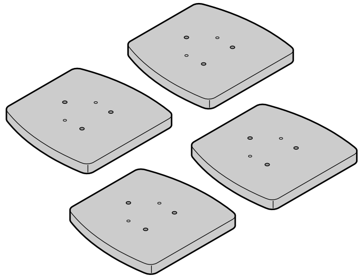


フロント、センター、
サブウーハー用
(4m×4)

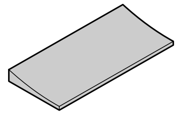


リア用
(10m × 2)

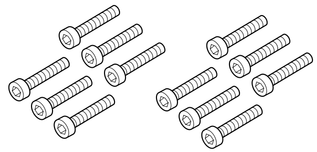
スピーカーコード× 6



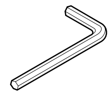
フロント、リアスピーカー用
ベース× 4



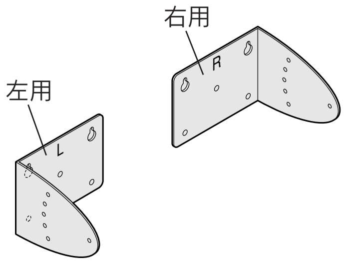
センタースピーカー用ベース× 1



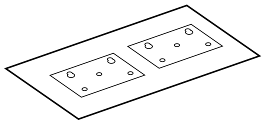
（ϕ 5mm × 40mm）
ベース取付用ネジ× 12



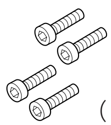
取付工具× 1



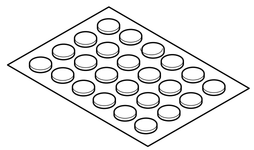
センタースピーカー用
壁掛け金具× 2



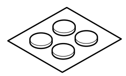
壁掛け用センタースピーカー
型紙× 1



（ϕ 5mm × 15mm）
壁掛け用ネジ× 4

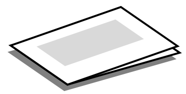


（コルク× 24）

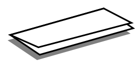


（黒×４）

すべり止めシート× 28



取扱説明書× 1



保証書× 1

● カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

1章 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

⚠	この記号は**気をつける必要がある**ことを表しています。
(禁止記号)	この記号は**してはいけない**ことを表しています。
(指示記号)	この記号は**しなければならない**ことを表しています。

⚠警告

内部に物や水などを入れない

内部に金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…
アンプの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…
アンプの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

設置上の注意

ぐらついた台の上や傾いた所、厚手のじゅうたんの上など不安定な場所に置かない

落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

フロント、リアスピーカーは、背が高いため設置の際には転倒しないようにご配慮ください

市販の転倒防止ワイヤーをお使いいただくことをおすすめします。

移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください

落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

スピーカーコードを配線される位置は、つまずいたり引っかかったりしないようご配慮ください

落下や転倒など事故の原因となることがあります。

開梱や持ち運びのときは

フロント、リアスピーカーの箱は梱包状態で約33kg、サブウーハー、センタースピーカーの箱は梱包状態で約33kgと重いので、開梱や持ち運びは必ず２人以上で行ってください。
けがの原因となることがあります。

置き場所について

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

壁に掛けて使うとき

・取扱説明書に従い、正しく組み立ててください。組み立てが不完全な場合、落下して、ケガや破損の原因となることがあります。
・取り付けの際には、金具等に指などをはさまないようにご注意ください。
・取り付ける壁面は十分な強度があることを確認してください。（壁に補強材の入っている部分に取り付けてください。）
・取り付け位置は、じゃまにならないよう十分ご注意ください。頭を打ったりしてけがの原因となることがあります。

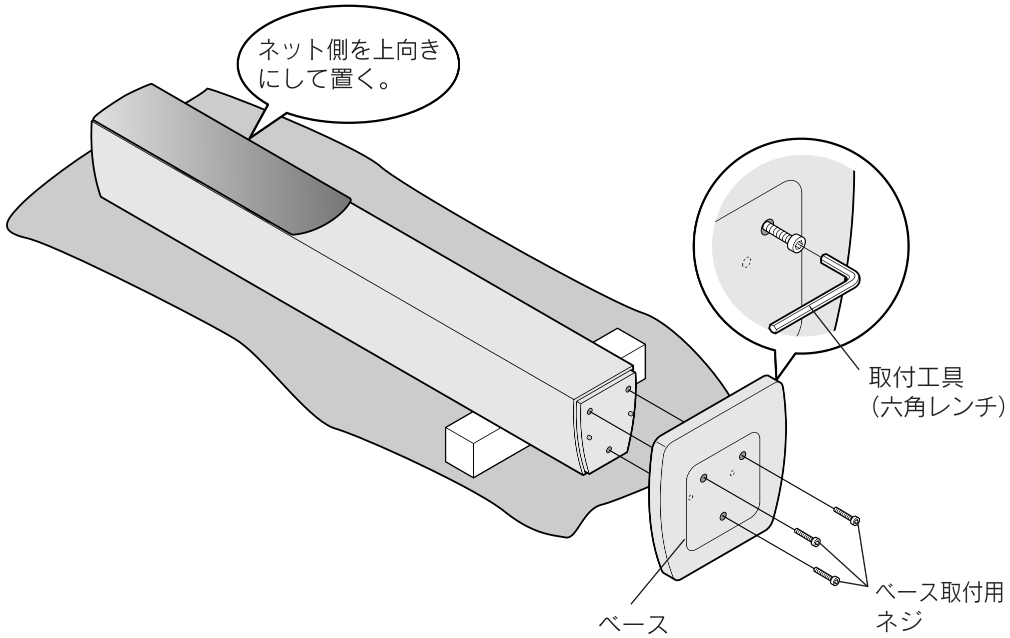
ご使用上のご注意

- スピーカーの許容入力を超えるアンプに接続しないでください。定格以上の出力を持つアンプに接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 大きな音量で連続使用しないでください。
スピーカー特性の劣化や寿命が極端に短くなる原因となることがあります。
- 磁気をおびたものを近づけないでください。
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。
- 通常の使用時でも以下のような場合は、スピーカー破損の原因となることがありますので、音量を下げてご使用ください。
  ・再生音が歪んだとき
  ・マイクやレコードプレーヤーのハウリング音、FM 放送の局間ノイズ、発振器やテストディスク、電子楽器など、大きな信号が連続して加わるとき
  ・音質調整をするとき
  ・電源ボタンを入／切するとき

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ P.15）
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

■フロント、リアスピーカーにベースを取り付ける

付属のベース取付用ネジ３本を使って、フロント、リアスピーカーにベースを取り付けます。取付工具（六角レンチ）を付属していますのでお使いください。



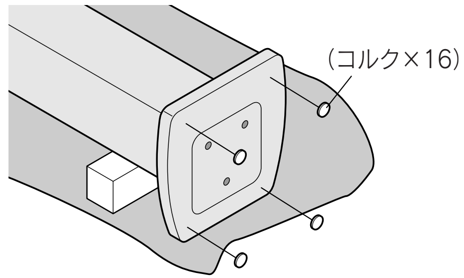
お知らせ

- 前面のネットに無理な力を加えないでください。
- 作業をするときは、平らな面の上に置き、傷付き防止のため必ず布を敷いてください。
  各作業でのネジ止めは、ゆるみのないようにしっかりと締め付けてください。

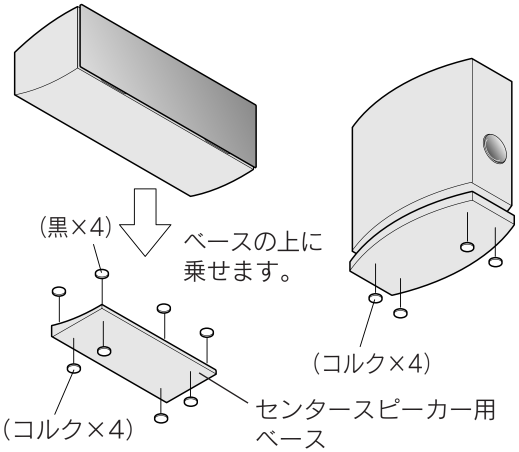
■すべり止めシートを取り付ける

付属のすべり止めシート（28 枚）を図のように貼り付けます。

フロント、リアスピーカー



センタースピーカー、サブウーハー



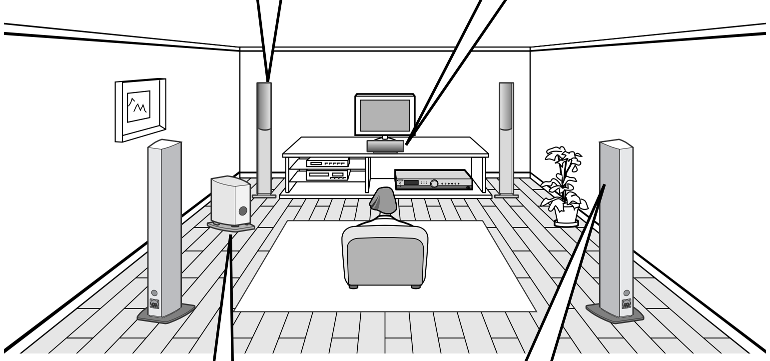
設置のしかた

■各スピーカーを配置する

サラウンド効果を十分に引き出すために、各スピーカーはお聞きになる位置からなるべく等距離に配置してください。
（各スピーカーの設置イメージです。）

フロントスピーカー
サラウンドのフロント音声や、ステレオモードの左右音声を再生します。

センタースピーカー
サラウンドのセンター音声を再生します。

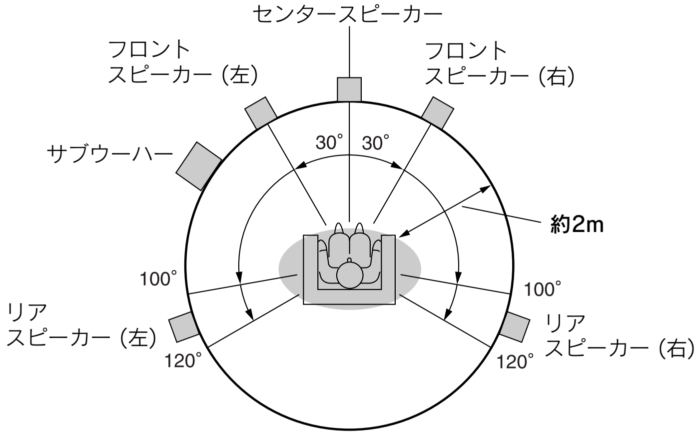


サブウーハー
低音を再生します。

リアスピーカー
サラウンドのリア音声を再生します。

フロント、リアスピーカーは4本とも同じものです。
フロント（左、右）、リア（左、右）スピーカーとして配置してください。

図のような角度に配置することをおすすめします。



- フロントスピーカーは、テレビを中心として左右に配置してください。
- センタースピーカーは、テレビの近くに置くことをおすすめします。
- サブウーハーからは低音が出ますので、振動しにくいしっかりした床に配置してください。
- サブウーハーの低音は指向性が少ないため、設置位置をあまり限定しません。できるだけ、左右フロントスピーカーの近くに置くことをおすすめします。

防磁スピーカーについて

各スピーカーは防磁対応されていますので、テレビの近くに置くことができます。ただし、使うテレビによっては、テレビ画面に色ムラが生じることがあります。

テレビに色ムラがおきたら…

いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

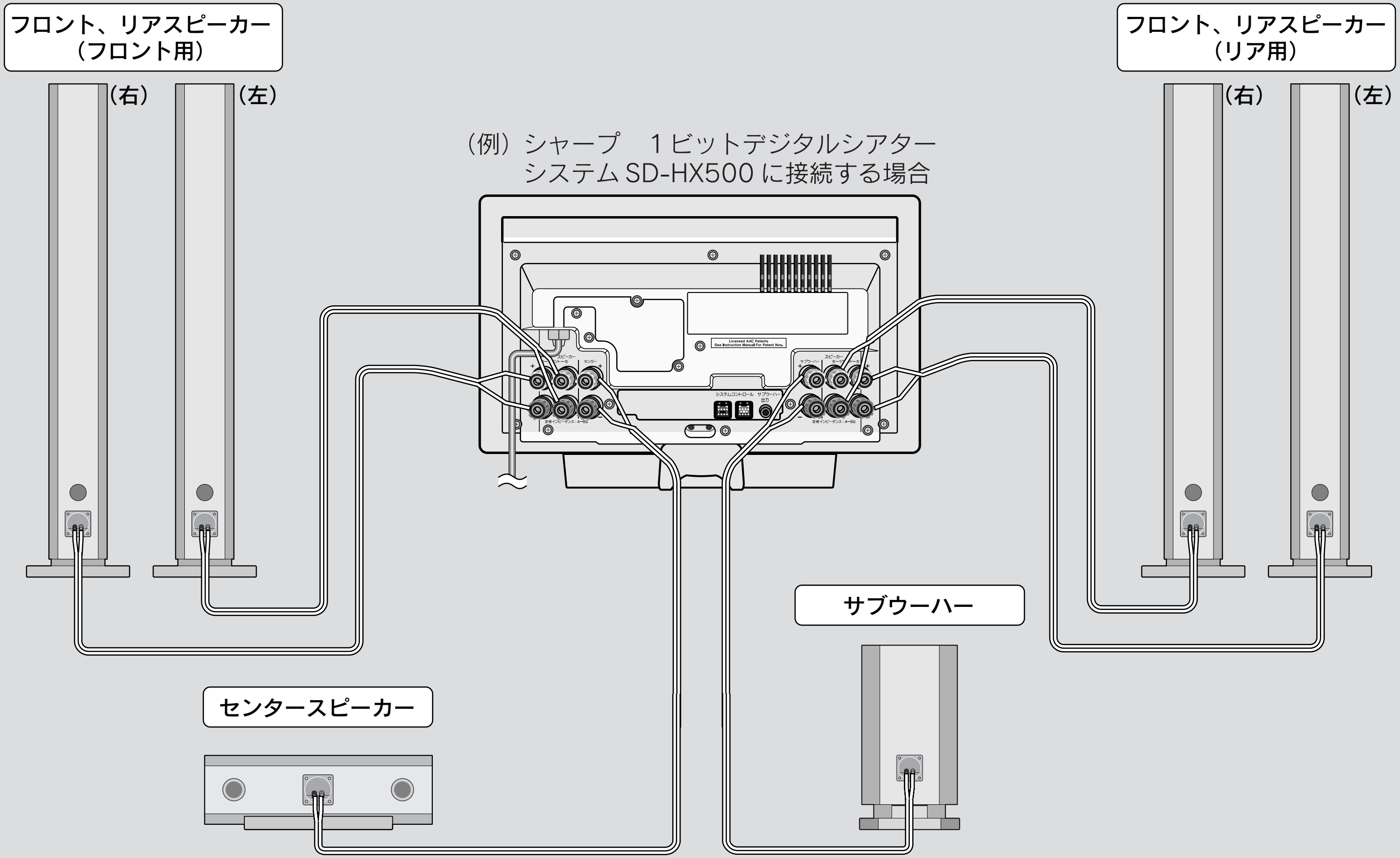
それでも色ムラが残るときは…

スピーカーをさらにテレビから離してください。

- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビ画面に色ムラが生じることがありますので、設置にご注意ください。

2章 接続のしかた

接続するときは、必ずアンプの電源コードを抜いてから行ってください。
インピーダンスは4～8Ωで、許容入力は100Wに適合したアンプをお使いください。
接続の際には、接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。

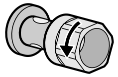


■スピーカーコードのつなぎかた

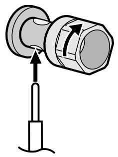
スピーカー側を先に接続し、そのあと本体側を接続してください。
スピーカーコードの⊕と⊖が触れるとショートしますのでご注意ください。接続の際には、スピーカーコードの先端が隣の端子に触れることのないよう、確実に固定してください。

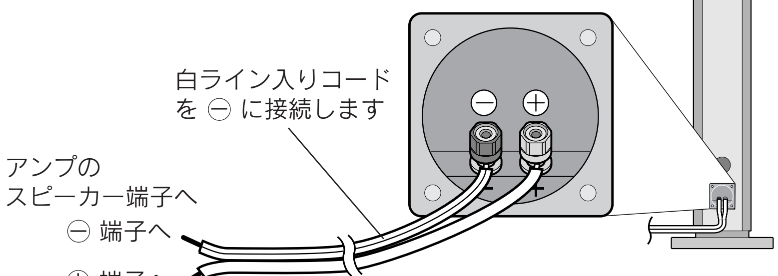
付属のスピーカーコードを使用するとき

1. **スピーカー端子のネジをゆるめる。**



2. **スピーカーコードの芯線を差し込んで、ネジを締める。**

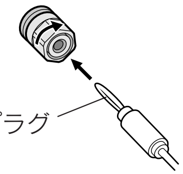




市販のバナナプラグ付コードを使用するとき

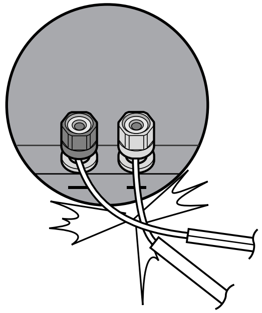
バナナプラグを使用される場合は、接触が確実に行える形状のものをご使用ください。

1. **スピーカー端子のネジを締める。**
2. **プラグを最後まで確実に差し込む。**

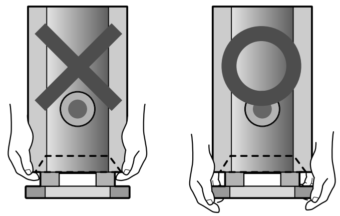


ご注意

- スピーカーを接続するときは、必ずアンプの電源コードを抜いてから行ってください。
- スピーカーコードの⊕（プラス）と⊖（マイナス）、左右をまちがえないように接続してください。
- アンプの電源が入っているときに、誤ってスピーカーコードをショートさせてしまうと、アンプが故障する原因となります。
- スピーカーコードを絶対にショートさせないでください。



サブウーハーを持ち運ぶときは、底面を持ってください。
このとき、下部にあるウーハーに触れないように注意してください。
ウーハーが破損する原因となります。





音のエチケット

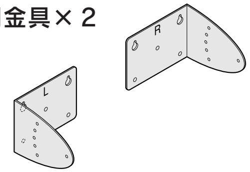
- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

2章 センタースピーカーを壁に掛けて使う

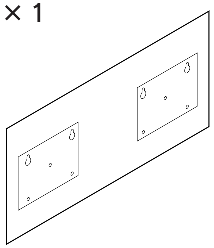
センタースピーカーは、壁に掛けて使用することができます。

■使用する付属品

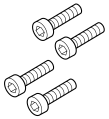
センタースピーカー壁掛け用金具×2



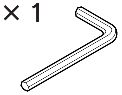
壁掛け用センタースピーカー型紙×1



壁掛け用ネジ（φ5mm×15mm）×4



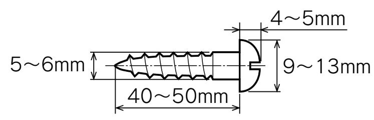
取付工具×1



■用意するもの

壁面に取り付けるネジ類は付属していません。
取り付ける場合は、指定の寸法のネジをお買い求めください。

ネジ（市販品）10本
ご用意いただく際は、販売店や工事店にご相談ください。



- **テープなど**
- **プラスドライバー**

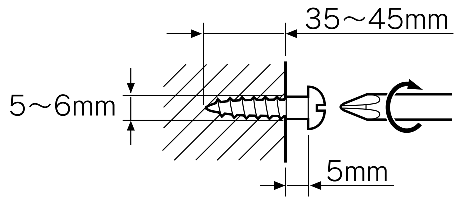
ご注意

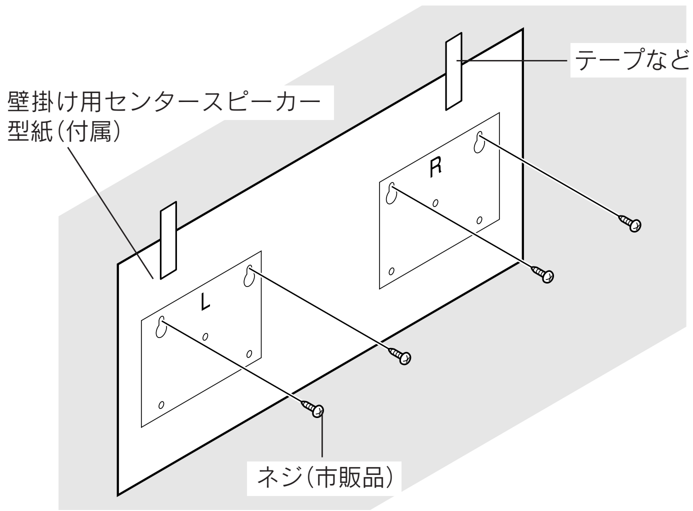
- 壁面の強度をよく確認してください。強度不足や、取り付けの不備による落下などの事故につきましては、当社は一切責任を負いません。
- **不安定な取り付けは、落下の危険性があります。**
ご自分での取り付けが不安な方は、お買いあげの販売店や工事店にご相談ください。

■取り付けかた

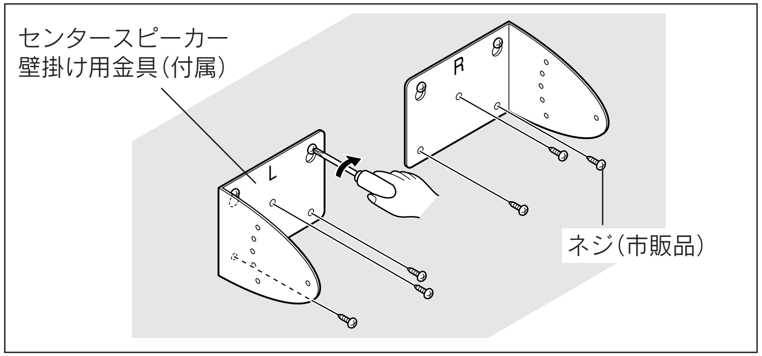
じょうぶな壁を選び、一定の厚み（5cm以上）のある所へ取り付けてください。
ベニヤ板など薄い板壁やボード板（石こう板）には、取り付けないでください。

1. **取り付けたい位置に付属の壁掛け用センタースピーカー型紙を貼り、市販のネジ(4本)を仮止めします。**
ネジ頭は壁用金具が掛けられるよう、壁から5mm浮いた状態にします。

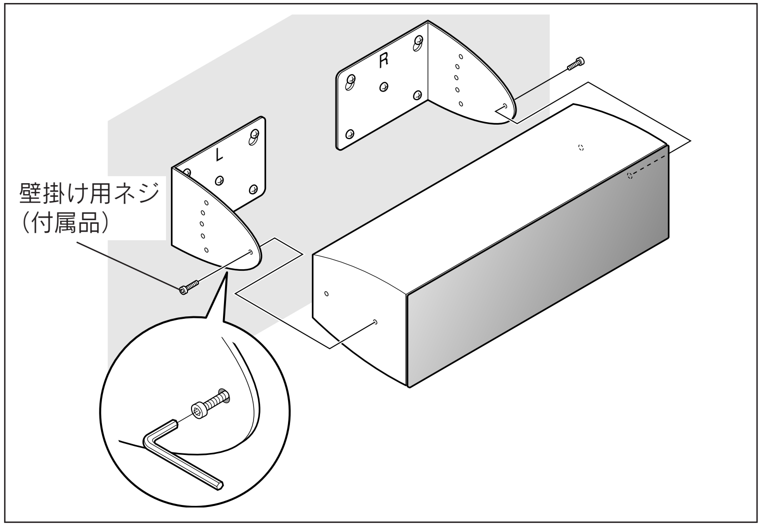




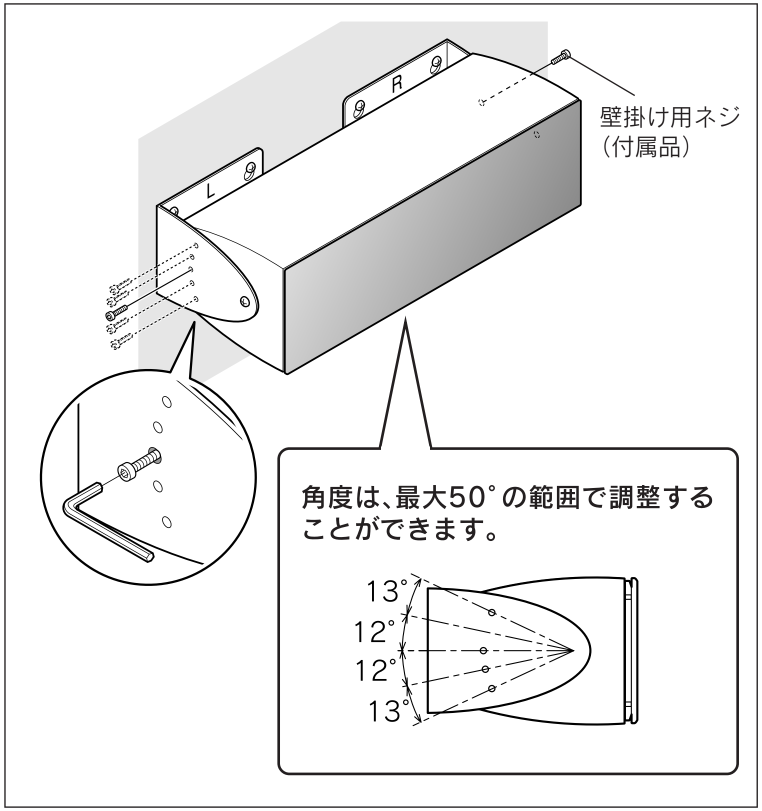
2. **付属のセンタースピーカー壁掛け用金具を仮止めしたネジに掛け、ネジをしっかりと締め付けます。**
残りのネジ穴にも市販のネジを使って止めます。



3. **付属の壁掛け用ネジ(2本)を使って、センタースピーカーの左右を固定します。**
センタースピーカーが落下しないように注意してください。

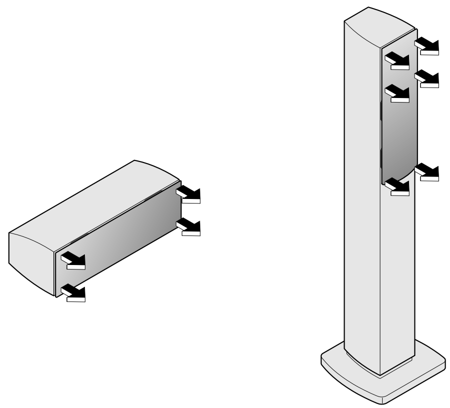


4. **センタースピーカーの角度を調整して、付属の壁掛け用ネジ(2本)を使ってしっかり固定します。**
スピーカーコードをはさみ込まないよう注意してください。



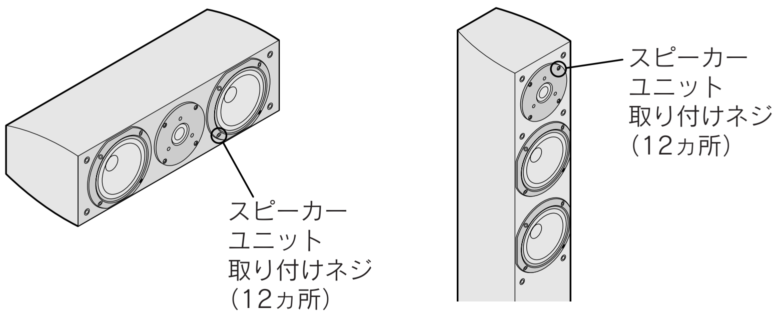
3章 スピーカーネットについて

スピーカーネットは、取り外すことができます。



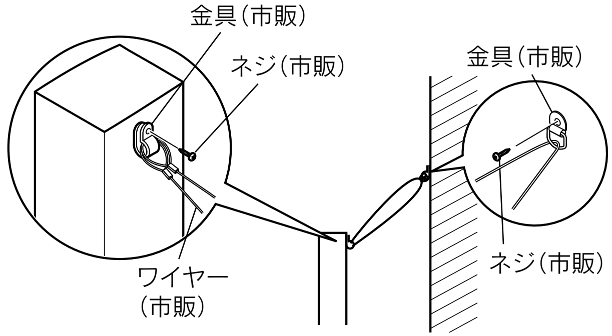
お知らせ

スピーカーユニットの取り付けネジは動かさないでください。
スピーカーユニットの取り付け位置は、工場出荷時に調整されています。
（マイクロピュア技術採用）



転倒防止について

フロント、リアスピーカーは背が高いため、市販の転倒防止ワイヤーをお使いいただくことをおすすめします。



- 取り付ける壁には、30kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

仕　様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

フロント、リアスピーカー

形　式	2ウェイバスレフ型［防磁設計(JEITA)］
スピーカー	11cm ウーハー× 2、3cm ツィーター
再生帯域	60 ～ 40,000 Hz
最大入力	200 W
定格入力	100 W
インピーダンス	4 Ω
音圧レベル	86 dB/W/m
内容積	14.6 ℓ
最大外形寸法	270（幅）× 1,100（高さ）× 270（奥行）mm
質　量	約 10.5 kg（1 台）

センタースピーカー

形　式	2ウェイバスレフ型［防磁設計(JEITA)］
スピーカー	11cm ウーハー× 2、3cm ツィーター
再生帯域	80 ～ 40,000 Hz
最大入力	200 W
定格入力	100 W
インピーダンス	4 Ω
音圧レベル	86 dB/W/m
内容積	5.5 ℓ
最大外形寸法	430（幅）× 130（高さ）× 149（奥行）mm
質　量	約 4.7 kg

サブウーハー

形　式	バスレフ型［防磁設計(JEITA)］
スピーカー	16cm ウーハー
再生帯域	30 ～ 200 Hz
最大入力	200 W
定格入力	100 W
インピーダンス	4 Ω
音圧レベル	86 dB/W/m
内容積	20 ℓ
最大外形寸法	220（幅）× 405（高さ）× 400（奥行）mm
質　量	約 9.5 kg

“故障かな？”と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、14ページの「**保証とアフターサービス**」をごらんのうえ修理を依頼してください。

スピーカーから音が出ない。

→接続コードがしっかりと差し込まれていますか。
「**接続のしかた**」をみて正しく接続し直してください。☞ P.8
→アンプの音量が“0”になっていませんか。適切な音量にしてください。

スピーカーから雑音が出る。

→パソコン・携帯電話などの機器が近くにありませんか。

お手入れについて

やわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご注意
ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。



保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、シアタースピーカーシステムの補修用性能部品を製造打切後、８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（15ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「“故障かな？” と思ったら」（13ページ）を調べてください。
  それでも異常があるときは、使用をやめて、必ずアンプの電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

品名	：シアタースピーカーシステム
形名	：CP-SYS10
お買いあげ日	（ 年 月 日）
故障の状況	（できるだけ具体的に）
ご住所	（付近の目印も合わせてお知らせください。）
お名前	
電話番号	
ご訪問希望日	

■ 便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　）　　　－

■ 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・ **お客様相談センター** へ

お客様相談センター

■ 受付時間： ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**
	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄･奄美地区を除く）**

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

ナビダイヤル **0570-02-4649**
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、ＮＴＴより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・ＰＨＳからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／ＰＨＳでのご利用は･･･	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸを送信される場合は･･････	(Ｆ Ａ Ｘ)	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄･奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄･奄美地区〕は･･･＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札　幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒１条7-3-17
東 北 地区	仙　台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関 東 地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多　摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千　葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横　浜 サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東 海 地区	静　岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北 陸 地区	金　沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近 畿 地区	京　都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神　戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中 国 地区	広　島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四 国 地区	高　松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九 州 地区	福　岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那　覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

● 製品についてのお問い合わせは‥		
お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**
《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　日曜・祝日：午前10時～午後５時（年末年始を除く）		

● 修理のご相談は‥	15ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。
● シャープホームページ	**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒739-0192　東広島市八本松飯田2丁目13番1号

Printed in China
TINSJA026AWZZ
03K Z AO ②